

バリアフリーの時代に 放置される 向日市役所のバリア



みなさんはもしも自分の目が見えなくなったり、歩くことができなくなったら市役所に相談に行きますよね？

やっとの思いでたどり着いた市役所の入口が自転車であふれかえり、目が不自由な人のために設置された点字ブロックをふさいでいて歩くことができない。

車椅子もベビーカーも置かれた自転車で通れない、そんな状態に直面したらどうしますか？

役所でそんなことがあるなんて「そんな馬鹿な」と思う方がほとんどでしょう。ところがそんな馬鹿なことがこの乙訓地域では実際にあるのです。

それは向日市の東向日庁舎です。

ここは1階にスーパーマーケット
2階より上階が向日市の庁舎で高齢者、介護保険、障がい福祉、子供、生活保護、健康保険の窓口が集約されています。

エシベーターも狭くおおよそハンディ

のある人が利用する施設としては問題があります。

エシベーターを改良することはただちには無理な事ですからせめて来庁される方々が安心して移動出来る環境ぐらひは整えてほしいものです。

この問題はこの庁舎が稼働して1年以上たつのにいまだに改善されていません。

向日市の担当者は一年以上改善しない理由に「この建物の管理がスーパーと建物内にあるマンション管理組合、市の協議が必要だから」とおっしゃいます。

ですが、動線が塞がれているのは、マンション住民でもスーパーの利用者でもありません。市庁舎に訪れる人だけなのです。

その人たちの多くはハンディがある人たち。

行政が守らなければならない人たちなのです。

その人たちに安全な移動環境を提供せず放置出来る向日市の姿勢には疑問だらけです。

ぜひみなさんも東向日庁舎の実態を見てください。そして改善を求めていただけないでしょうか？

事故がこのままでは必ず起きます。

起きてからでは遅いのです。

